



なでしこ

第12号

H23 (2011) . 8. 15 発行
沖館川をきれいにする会
事務局 781—0862

1級河川の水質ランクが 東北最下位の 岩木川 には ヤマメが棲める

ふるさとの 沖館川 (2級河川) に ヤマメは棲めない ~ ショック

◆ 去る7月29日東奥日報紙に、「岩木川は東北最下位」との見出しで、7月28日国土交通省が公表した、全国1級河川109水系の2010年水質ランクの調査結果が報道されました。

このニュースをご存じの方もおられると思います。それによると西目屋村一五所川原市を流れる岩木川本川の水質が、全国165河川中156位で東北最下位とありました。

更に、岩木川は水質が悪化しているわけではなく、全国的に下水道の整備が進み河川水質が向上するなか、相対的に低くなった結果であり“水道利用には全く問題がない”と。

その根拠は、岩木川の場合、河川の汚れを示すBOD「生物化学的酸素要求量」の水質平均値が10当り1.6mgで、ヤマメが棲める溪流並みの水質数値(BOD 1mg~2mg)を保持しているため“通常の浄化処理で飲用できる”レベルにあるからだそうです。

◆ 翻って、当会の沖館川・西滝川の水質検査では、湖沼水検査用のCOD「化学的酸素要求量(水中の有機物が酸化される時に消費される酸素量)」を使用中(価格が安い)ですが、今年4回の検査数値結果は下表のとおりです。この数値は水道法で定められた水質基準10mg以下を示してはいるものの、快適な水源(3mg以下)と言うにはほど遠く、ヤマメなど溪流の淡水魚はとても棲めません。(注)ただし鯉・ボラは棲みつき、ほかに鮭の遡上や蟹も多少見られます。

「CODでの検査結果表」~ 各川から採取した川水 **10当りの水質検査数値 (mg)** を示す

検査日・場所	23年1月1日	3月2日	5月2日	7月1日
沖館川 (沖館橋下)	3	5	5.5	5
西滝川 (相野歩道橋下)	6	5	6	6
沖館川 (相野歩道橋下)	2	6	6	5

★ 以上のことで考えさせられるのは、**1つは**、県内の1級河川(3つ)のうち、水質が環境基準をクリアしたのは岩木川・馬淵川の2つ(高瀬川は基準を下回る)で、その岩木川が全国的には最下位グループ(10当り1.6mgでも)にあることです。これは、他県などが、いかに川の環境改善向上に取り組んでいるか、ということの裏返しでもあります。

もう1つ、ふるさとの沖館川・西滝川の水質数値についてですが、以前から県内汚染河川の最上位にランクされているのは事実で、極めて残念です 私達としては今後、行政機関と共に一日も早くその汚名を返上し、一見きれいに見える掛けがえない沖館川・西滝川を、より美しくきれいな清流に蘇らせるための努力と工夫をしなければならないと思う次第です。

どうか会員各位はじめ地域住民の皆様の一層のご協力をお願いします。(文責 寺嶋)